



埼玉親の会「麦」発行  
2021年6月22日 151号  
E-mail: mugi.saitama89@gmail.com  
ホームページ: <http://ld-mugi.sakura.ne.jp/>



## 2021年度を迎えて ～代表と幹事よりメッセージ～



### ＜＜ 代表挨拶 ＞＞

総会を開くことができず、書面議決を2年続けて実施することになってしまいました。新型コロナウイルスに振り回されながら少しずつ「新しい生活様式」「コロナ後」と言われる生活になってきているのでしょうか。私たちの子どもたちには生活の困難さが増してしまいました。また、ICTを取り入れることは否応なしに迫られています。それが私たちにとって便利でよいことでもあり、反面いろいろな心配ももたらされています。取り入れることが困難な人たちの不利益も気になります。麦もコロナ以前の活動ができずにいます。Zoomなどを上手く利用するとともに対面の活動も大切にし、できる範囲の活動を模索したいと思います。そして会員皆が共感し合える、ほっとできる会でありたいと願っています。何より早く感染の収束を願うばかりです。

今年度も皆様の一層のご協力をお願いいたします。

(M.K)

### ＜＜ 幹事挨拶 ＞＞

昨年から続くコロナ禍の生活もワクチンの接種開始という局面を迎え、明るい兆しを感じます。とはいえまだまだ新型コロナ感染症感染予防の為、本年も新しい生活様式に則り行事を行って参りますので、昨年同様ご協力の程よろしくをお願いいたします。また、引き続き幹事2名体制でございます。皆様のお知恵、お力、お時間をお貸しただけですようよろしくお願い申し上げます。

(Y.S)

今年度もコロナ感染予防の為に、講演会やおしゃべり会は対面、Zoomなどのオンラインを併用した開催になると思いますが、皆様により良い活動が出来るようにしていきたいと思っています。そのためにも会員の皆様のお力が必要です。今年度も皆様のご協力をお願いいたします。

(A.Y)

## 2020年度総会に代わる書面議決の報告

2020年度総会は新型コロナウイルスの感染拡大により、昨年度同様総会に代わる書面議決を行いました。3/19(金)に議決権行使書または委任状の確認作業を役員が行いました。議決権行使書を確認し、議案すべてにおいて賛成であり、可決されました。詳細は既に正会員へ連絡網でお知らせのとおりです。

書面議決にご協力いただきありがとうございました。

(M.K)



## 「麦」活動アンケート2021のご報告

年度初めに、正会員皆様へ活動アンケートを送付し、締め切り後の集計では、回答率60.7%でした。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。お陰様で貴重なご意見を多数頂戴することができました。皆様のご意見を参考に、役員会で活動を見直したいと存じます。なお集計結果は分析して資料にまとめ、正会員の方に連絡網で別途メール添付送信させていただきます。今後も、活動に対してご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

活動アンケート担当 (H.Y)

## 全体おしゃべり会



### 対面でのおしゃべり会

浦和コミュニティセンター第13集会室

参加：教育2名、就労6名、見学6名 計14名（見学夫婦2組、見学2名、会員5名の3グループ）

4/26（月）のおしゃべり会に参加させていただきました。コロナ禍の中ストレスを感じやすい時代です。

発達の凸凹を持っている方の中には感じやすく特に大変な方もいるのでは。今、学校生活の困難と戦っている方、社会に出て日々工夫をしている方悩みはつきませんね。こんなものだと分かっているとしてもしんどい時もあります。みなさんの笑顔は明日の力になりました。ありがとうございました。（T.K）



### オンライン（Zoom）でのおしゃべり会

3/8（月）10：00～12：00 ZOOM おしゃべり会

参加：教育1名、就労3名 計4名

会員の皆様とオンライン（Zoom）おしゃべり会で行いました。初めての試みではありましたが、日ごろの悩みやコロナ禍での過ごし方などのお話ができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。（A.Y）

## 機関紙発送

### 2月号発送 3/9（火）

緊急事態宣言により、予定していた発送作業を見合わせ、2月号は取りあえずWEB掲載いたしました。緊急事態宣言解除後の3/8（月）に発送役員1名で印刷を済ませ、3/9（火）発送役員を含む役員4名が、感染に気を付けながら、機関紙2月号と総会関連資料を製本郵送いたしました。発送のお手伝い、ありがとうございました。（H.Y）



### 機関紙臨時号発送

4月26日（月）に浦和コミュニティセンターで新旧発送役員3名と他役員3名の計6名で機関紙臨時号を発送いたしました。なお、臨時号は事務連絡版であるためWEB掲載せずに会員のみへ郵送しました。お手伝いありがとうございました。（M.A）



## 役員活動

### 全国LD親の会 関東・東北ブロック会議

2/14（日）Zoomを利用して標題会議が行われました。理事、評議員の他12の会が参加しました。初めに1月に行われた評議委員会の報告がありました。2/21の第19回公開フォーラムの詳細、6/26予定の総会と6/27予定の第20回公開フォーラムの説明がありました。また、様々な事業にオンラインが活用できるよう対応を進めているとのことでした。さらに6月総会時に役員改選が行われ、麦から推薦の現在評議員のYさんが理事に就任の予定であるとのことでした。最後に参加各会の活動報告がありました。どちらの会でも、新型コロナウイルスの影響で活動が制限される中、できる活動を工夫して実施されているようです。（M.K）



## 共生社会における多様なコミュニケーション～発達障害児・者が社会につながるために～

2/21 (日) 9:40～16:00 北九州市立商工貿易会館からオンラインライブ中継配信  
 昨年6月に北九州で会場開催する予定でしたが、コロナの影響により延期され、オンラインライブ配信へ変更になりました。「麦」からは、私を含め4名が参加いたしました。内容を簡単にご紹介させていただきます。

### 基調講演「発達障がいのある人が社会とつながって生きるために」

西村浩二氏（広島県発達障害者支援センター・センター長）

発達障害のある人の生きにくさの背景と、社会参加の要件、参加の方法などを説明した後、支える人達に、「本人と社会をつなげる時にプロセスを丁寧に行う事」「本人へ気付きを促す事」「その人らしい生き方を承認する事」「良き伴走者である事」を心掛けてほしいと講演されました。

### 講演「サイボーグ時代の人生戦略

～社会参加のための新たなコミュニケーションツール～

吉藤健太郎氏（株式会社オリィ研究所代表取締役）

右写真の遠隔操作型分身ロボット「OriHime（オリヒメ）」を会場に設置し、吉藤氏は東京から遠隔操作で講演されました。不登校を経験後、現在は分身ロボットによって外出困難者が社会とつながれるような場を提供しているそうです。



### 講演「描くということ」

Ajuさん（アーティスト）

Ajuさんは、ことばを絵でイメージ化してしまうので、授業は苦勞されたそうです。アスペルガーの診断を受け、ストレスを抱えている時に、永浜氏（右記パネラー）と出会い、絵を褒められたことで、自分に合った生き方を見つけ、人とつながる事ができたと話されました。

### パネルディスカッション「社会とつながる方法」

パネラー：永浜明子氏（立命館大学スポーツ健康科学部准教授）

永井弘明氏（全国LD親の会理事・福井たんぼぼの会）

大曲千代子氏（北九州LD等発達障害親の会「すばる」）

進行役：西村浩二氏（広島県発達障害者支援センター センター長）

永浜氏は、Ajuさんの特性を変えようとせず、人はみな違って当たり前だと話されました。永井氏は発達障害の息子さんの事を話され、息子さんは家族や社会とつながる事で、生きがいを見つけたそうです。大曲氏は、余暇活動は人を成長させると述べられました。西村氏は、パネラーに質問を投げかけ、討議を深めました。

(H.Y)



## 役員活動報告（さいたま市）

### 令和2年度さいたま市第3回発達障害者支援連絡協議会

3/1 (月)

第3回はシンポジウム形式での開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、書面会議となりました。

#### [議題]

- ・令和2年度第一回発達障害者支援連絡協議会実施の調査アンケートの確認及び修正
- ・所属の資源情報及び典型事例とその支援について
- ・令和2年度発達障害者支援連絡協議会の振り返り

(M.N)



## 役員活動報告（さいたま市）

### 思春期編・発達課題がある子どもたち～家族のための勉強会～

3/3（水）こころの健康センター

こころの健康センターにておこなわれている、年 5 回隔月開催の勉強会で、「先輩保護者の話しを聞く」プログラムの話し手として麦から 2 名で参加。

20 分ずつの講話の後、座談会形式の質疑応答。

当日の出席者は、小学生から高校生までの保護者 4 名。

(M.H, M.N)

## 役員活動報告（さいたま市）

### 令和 2 年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会



3/11（木）に 開催予定でしたが、緊急事態宣言が出たため書面議決で開催されました。

電子メールを用いた書面開催

会長選任 委員所属機関活動報告 引きこもり相談センターの活動報告 ひきこもりつてなに？～関わり方のヒント～のパンフレットについて等内容を確認し、意見を提示。書面にてワーキンググループの資料を送付していただきました。

(M.H)

## 役員活動報告（さいたま市）

### 第 6 回さいたま市障害者政策委員会

3/16（火）Zoom を利用して行われました。まず、次期（2021 年～2023 年度）障害者総合支援計画が完成し、素案の時に提出された意見への対応の報告がありました。また各委員から、同計画が完成したことによる感想や今後の課題などを発言しました。DX と福祉を結び付ければ大きな発展があるだろう、災害・コロナ対策などへの支援策を、優良な人材や業者の確保を、等の意見がありました。次に、新型コロナウイルス感染拡大のため障害特性により「新しい生活様式」を実践することの困難や必要な支援・配慮を収集した報告がありました。次年度は、事例集等を作成するとともに、支援や配慮の周知・啓発の方法を考えるとのことでした。

その他に、2021 年度予算案の概要について、さいたま市ソーシャルファームについて、説明がありました。

(M.K)

## 役員活動報告（さいたま市）

### 第 7 回さいたま市発達障害者支援地域協議会

去る 3/18（木）、標記の協議会がオンラインによるリモート形式（Zoom）で開催されました。内容は以下のとおりです。

- ①令和 2 年度の発達障害児者及び家族等支援事業「ペアレント・メンター」について
- ②次期障害者総合支援計画の策定について（特に発達障害者関連部分）
- ③さいたま市東部地区への新しい療育センターの整備について

(Y.S)



## 令和2年度第2回埼玉県発達障害者支援地域協議会

3月25日（木）発達障害総合支援センター 研修室（オンライン会議システム併用）にて標記の協議会が開催されました。ZOOMにて参加しました。内容は以下のとおりです。

議事（1）コロナ禍における発達障害児・者の生活について

①日常生活について②学校生活について③就労について

報告（1）令和3年度発達障害支援事業予算について

（2）「世界自閉症啓発デー2021」における広報・啓発の取組

その他 発達障害の特性と虐待 ―発達障害の親子関係―

コロナ禍における発達障害児・者の生活の中で困っていることや良かったことなどを意見交換しました。

ご質問や資料閲覧などの問い合わせは、役員までお願いします。

(A.Y)



### その他の活動

## JDDnet 埼玉「発達障害啓発週間」ポスター展示

3/22（月）～4/9（金）

4/2は「世界自閉症啓発デー」、また4/2から1週間は「発達障害啓発週間」です。それに合わせ、県民への普及啓発活動の一環として埼玉県福祉部福祉推進課のご協力をいただき、毎年県庁の渡り廊下に、「世界自閉症啓発デーと発達障害啓発週間」の案内、発達障害の説明やJDDnet 埼玉加盟団体の紹介ポスターを展示しています。今年は埼玉県自閉症協会、えじそんくらぶ埼玉「えがおのタネ」、よつばくらぶ、埼玉親の会「麦」の4団体が参加しました。「麦」は会の紹介ポスターと当会のリーフレットを掲示しました。

(M.K)



## その他の活動

### 埼玉県 発達障害に関する県民向け講演会

発達障害のある子ども達のこころとそだちを支える～発達障害への「僕」のまなざしと希望～

講師 田中康雄氏（医療法人社団倭会 こころとそだちのクリニックむすびめ院長 北海道大学名誉教授 精神科医 臨床心理士）

3/29（月）～4/12（月）（YouTubeによる配信）

コロナ禍、埼玉県の発達障害に関する県民向け講演会は、YouTubeによる動画配信で行われました。発達障害臨床の現状、発達障害とは？ ライフステージからみた課題と支援、これからの臨床への思いについてのご講演でした。発達障害の子ども達を支えるには周りの大人（親や支援者等）が特性を理解し、子供たちに向き合い、毎日子供の良いところを見つけて褒めて、応援してあげることが大切だと改めて感じさせられました。我が子や自分自身の対応について等、支援をしていく上でとても参考になりました。

例年講演会を行ってくださり感謝しております。YouTubeによる動画配信は自宅に居ながら講演を聴くチャンスが得られて大変意義深いと感じました。（A.Y）

## その他の活動

### さいたま市 発達障害に関する講演会

「乳幼児発達と保育の支援 発達障害のある子どもの就学支援に焦点をあてて」

講師 白石京子氏（近畿大学九州短期大学通信教育学部 兼任講師）。

3/15（月）～21（日）（YouTubeによる配信）



コロナ禍、令和2年度のさいたま市の発達障害に関する講演会は、YouTubeによる動画配信という形で行われました。発達障害児の特徴とチェックリストなどを活用した支援方法、就学支援についてのご講演でした。自分の暮らす地域の保健センターや医療、療育機関などの資源との関わりの中で発達障害児が支えられ保育園や幼稚園から小学校という次のライフステージへと進んでいく事例は興味深かったです。発達障害児支援では大切なのは本人の困り度でお説教は効果がないという言葉は、大きくなった我が子への私の対応について初心を思い出させてくれました。

さいたま市におかれましては、例年講演会を行ってくださり感謝しております。今回のようなYouTubeによる動画配信は、仕事の都合等で今まで講演会に参加できなかった方も講演を聴くチャンスが得られ大変意義深いと感じました。（Y.S.）

## 情報！

### 埼玉県発達障害総合支援センターからのお知らせ

動画「新型コロナウイルスと発達障害」を配信しています。

講師：市川宏伸氏（同センター長）

\*コロナ禍での発達障害児・者の情報を共有するための情報発信として  
YouTubeにて配信 申し込み不要 現在配信中 こちらから↓

<https://www.youtube.com/watch?v=kIZWatuzOAg>



## 「麦」活動報告（機関紙 2021 年 2 月 150 号報告以降）

### <会全体の活動> 会員参加行事

- ・全体例会（学習や会員同士の交流の場の提供、コロナ禍のため講演会の企画は見送り）

3/8（月） オンラインおしゃべり会（Zoom）

4/26（月） 対面おしゃべり会（会場開催）

- ・総会関連行事

3/9（火）～3/15（月） 総会に代わる書面議決書提出

3/19（金） 総会に代わる書面議決確認 Zoom（役員による票数確認、会員は Zoom 傍聴可）

- ・その他

4/26（月）～5/15（土） 会員活動アンケート実施

### <役員活動>

- ・役員会（活動の報告、計画、相談、情報交換など）

2/5（金） Zoom（臨時会議）、2/15（月） Zoom、4/12（月） Zoom、5/24（月） Zoom

#### ≪役員会主な議題≫

①総会に代わる書面議決実施について（日程、決算、予算、会則、会費等）

②新年度役員体制、年度当初の確認作業 ③会員活動アンケート

④埼玉県・さいたま市の行政委員の交替 ⑤機関紙臨時号、151 号内容検討 ⑥会員活動予定

- ・入会に向けての活動

2/15（月） 入会希望者向け Zoom おしゃべり会

- ・機関紙発行および各種発送に関する活動

2/26（金） 機関紙 150 号 WEB 掲載

3/8（月） 総会関連資料事前印刷

3/9（火） 総会関連資料郵送、機関紙 150 号関係機関向け印刷発送

4/26（月） 機関紙臨時号（事務連絡版）会員向け印刷発送

- ・ホームページの更新

2/10（水）、2/15（月）、2/25（木）、3/25（木）、4/1（木）、4/9（金）、5/11（火）、5/22（土）

- ・行政関連の行事

3/1（月） 令和 2 年度第 3 回さいたま市発達障害者支援連絡協議会（書面会議）

3/3（水） さいたま市こころの健康センターへ役員派遣

「発達の課題がある子どもたち・家族のための勉強会」の先輩経験談に協力

3/11（木） さいたま市ひきこもり対策連絡協議会（書面会議）

3/16（火） 第 6 回さいたま市障害者政策委員会（Zoom）

3/18（木） 第 7 回さいたま市発達障害者支援地域協議会（Zoom）

3/25（木） 令和 2 年度第 2 回埼玉県発達障害者支援地域協議会（Zoom）

- ・その他

3/15（月）～21（日） さいたま市発達障害に関する講演会（YouTube による配信）

3/22（月）～4/9（金） 発達障害啓発週間に合わせた県庁パネル展示、掲示・撤去作業

3/29（月）～4/12（月） 埼玉県発達障害に関する県民向け講演会（YouTube による配信）

### <全国 LD 親の会の行事>

2/14（日） 関東・東北ブロック会議（Zoom）

2/21（日） 第 19 回公開フォーラム（Zoom ウェビナー）

## ※8月おしゃべり会 「麦」会員限定（正会員、賛助会員、法人会員） 〈ZOOMでのおしゃべり会〉

日時：8/28（土）10：00～12：00 定員5名

8/28（土）13：00～15：00 定員5名

※詳細は会員連絡網または麦ホームページにてお知らせいたします。



## ※役員会のお知らせ

役員会は月1回程度行っています（次回は7/12（月）の予定）。

役員会は役員だけでなく会員なら誰でも参加できますが、コロナ禍では感染や多人数でのZoom混雑を防ぐため、役員のみで行わせて頂きます。役員会にご意見がある会員は、役員までご連絡ください。

\*今後の予定は決まり次第、麦ホームページまたは会員連絡網でお知らせいたします。



## ～編集後記～ 2021 年度機関紙担当からのご挨拶

コロナのワクチン接種が始まり、明るい兆しが見え始めてきました。とはいえまだまだ「新しい生活様式」で不便な生活が続くと思われませんが、麦のホームページより機関紙をダウンロードしてお読み頂けたら幸いです。

今年度も役員2名、補助の方2名の4名で、やや厳しい体制ではありますが、多くの情報をお届けできるように機関紙役員を務めさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

(A.Y)

コロナ禍で諸々の変更を余儀なくされ、不便な生活を強いられていることとお察しします。

何かと時間が奪われ、リモートでの作業とてままならない昨今ですが、しなやかに前に進める力を子も親も備えていければと思います。

今年度も機関紙役員を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(T.O)

## 機関紙に原稿をお寄せいただいた皆さまへ

この度は、機関紙6月号に原稿を寄せていただき、ありがとうございました。

これからも、麦の活動にご協力をお願いいたします。

〈機関紙担当一同〉

